

住まいと暮らしの、いいヒント

ペイント編

No.40

 ジャンボエンチョー

DIYハンドブック ペンキ塗りの 基礎知識

もっとカンタンに、もっとキレイな仕上がりに!
初めてでもカンタンにできるテクニック満載。



さっそくトライ!

お店で揃える材料は

□ 必要な材料と道具

材 料



[各種塗料]

塗るものに適した塗料を選びましょう。



[ペイントうすめ液]

油性塗料を薄めるときに使用します。



[ハケ洗い液]

油性塗料(ラッカー系を除く)を塗ったハケが水洗いできます。

道 具



[各種ハケ]

塗料や塗装面によって使い分けましょう。



[受け皿]

塗料は使う分だけ出して使いましょう。



[塗料用下げ缶]

塗料を入れて使用します。



[マスキングテープ]

塗料が付くと困るところには、予めカバーします。



[紙やすり]

塗料の食いつきが良くなるよう、木材を荒らします。

[ヘラ][新聞紙][手袋・マスク・ゴーグル]

塗装の前に

POINT 1 塗るものに適した塗料・うすめ液を選ぶ

[塗料]は、[水性塗料][油性塗料]があります。[水性塗料]は水で、[油性塗料]は[ペイントうすめ液]で薄めます。

※薄める際は、塗料缶の中で直接薄めないでください。
※[うすめ液]は、[塗料]の表示を良く確認して選びましょう。



D.I.Y.アドバイザー
ワンポイント!

覚えておくと便利です

- [水性塗料]のほうが[油性塗料]に比べて臭いも少なく、手早く塗れます。
 - 浴室や屋外など水のかかるところも、[水性塗料]で大丈夫。
- ※[水性塗料]は、いったん乾くと[油性塗料]に匹敵するくらいにしっかりした塗膜を作る。

POINT 2 天気の良い日に塗りましょう

雨の日などに塗装すると、なかなか乾かなかったり、ツヤがなくなったりします。晴れた日を選んで作業しましょう。

POINT 3 塗る場所の風通しを良くしておく

[塗料]をよく乾かすため、風通しを良くしましょう。室内での作業は窓を開けて。
※但し、ホコリには注意しましょう。

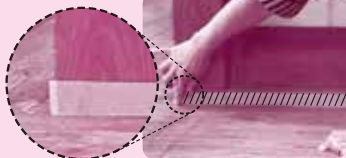
POINT 4 塗るものの下地をよく整えておく

塗る前に塗装面の汚れやサビをきれいに落とし、[塗料]のくいつきを良くするために[紙やすり]などで軽く荒らしておきましょう。



POINT 5 マスキングを忘れずに

[塗料]がつくと困るところは、あらかじめ[マスキングテープ]と[新聞紙]などを使ってカバーしておきましょう。より美しく仕上がる上、作業もはかどります。



塗装作業のコツ

STEP 1

塗るものに適した道具の選び方

[ハケ]は、[水性用ハケ][油性用ハケ][ニスバケ][コテバケ][ローラーバケ]などを、[塗料]や塗装面によって使い分けましょう。

●ニスバケ

毛が白く、細くて柔らかい。ハケ目がなるべく出ないように、毛先がとがっている。



●油性用ハケ

毛が黒く、腰が強い。



●水性用ハケ

毛が白く、柔らかい。



●コテバケ

凹凸のあまりない広い面をスピーディに塗りたいときに。



●ローラーバケ

ブロックやリシン壁など凹凸のある広い面を塗るときに。



●すき間塗り(ベンダー)

すき間、パイプ、サンなどを塗るときに。塗るものの形状に応じて、柔らかい金属の枝が折り曲げ自在。

STEP 2

塗料は使う前によくかき混ぜる

[塗料]は、必ず缶ごと十分にかき混ぜてから塗るようにしましょう。さもないとムラになったり、色が変わったりすることがあります。





D.I.Y.アドバイザー
ワンポイント!

塗料の伸びが悪くになったら

【塗料】は、使う分だけを専用の【塗料用下げ缶】に移し、基本的に、薄めずに使いましょう。作業中に【塗料】の伸びが悪くになったら、【塗料】に応じた【うすめ液】を【塗料】に対して5%ほど加えます。

STEP 3

ハケの使い方



①新しい【ハケ】は、使う前に手でよくしごき、できるだけ抜け毛を取っておくのがコツ。



②【塗料】は、【ハケ】の2/3くらいに含ませ、さらに【ヘラ】などでしごき、【ハケ】の中の空気を抜いてから塗ります。



③【ハケ】の持ち方は、手首のスナップがきくペンタッチ(ペンと同じ持ち方)で。



④天井・床など場所によっては【コテバケ】や【ローラーバケ】につき柄をつけると作業が楽になります。

作業のコツは表面に続きます ▶▶▶

塗装作業のコツつづき

STEP 4

塗りにくいところから 塗り始める

POINT 1

〈例〉

塗りにくい部分

コーナー、凹凸面、マスキングの境目など、塗りにくい部分を最初にひろい塗りして置きます。



POINT 2

〈例〉

広い面

細部を一通り塗り終えてから、広い面を塗っていきます。



STEP 5

一度に厚く塗らないように

厚く塗ると垂れますし、なかなか中まで乾かずに、表面にシワ、縮み、ヒビ割れができてしまいます。【塗料】は、うすめに2、3回塗り重ねた方が、丈夫に、キレイに仕上がります。

2回目は、1回目の【塗料】が完全に乾いてから塗りましょう。生乾きの状態で塗り重ねるのは、厚塗りするのと同じことです。

塗装作業の後に

eco! なマメ知識!

次回にまた使えるように

[ハケ]は、きれいに洗っておけば、何回でも使えます。また、使い残しの[塗料]も上手に保存し、再利用したいものです。

POINT 1 使ったハケの洗い方

- ① [ハケ]についている[塗料]を[ヘラ]などでごき落とします。
- ② さらに、[新聞紙]などになすりつけて、できるだけ取りのぞきます。
- ③ [水性塗料]は水で、[油性塗料]は[ペイントうすめ液]もしくは[ハケ洗い液]で十分に洗い、その後[新聞紙]などでよくごきます。
- ④ 水性洗剤で洗ってから水洗いします。
- ⑤ 水気を切ったら、陰干しします。



POINT 2 残った塗料の保存方法

- [水性塗料]は、きっちりと缶にフタをしておけば大丈夫です。
※ただし水で薄めたものは保存がききません。
- [油性塗料]は、空気に触れると固まるので、[ペイントうすめ液]を表面に薄く張り、缶のフタをきっちりしておきます。
- [受け皿]に残った[塗料]を、2回塗りするまで一時的に保存するには、[水性塗料]は水を、[油性塗料]や[ニス]は[ペイントうすめ液]を表面に薄く張っておき、ビニール袋などに入れて、口を輪ゴムで閉めておきます。



事前準備チェックリスト

- 各種塗料
- ペイントうすめ液
- ハケ洗い液

- 各種ハケ
- マスキングテープ
- 受け皿
- 紙やすり
- 塗料用下げ缶
- 新聞紙
- ヘラ
- 手袋
- マスク
- ゴーグル

注意) ご自宅にあるものでも構いません。

商品の詳しい使い方は、それぞれの説明書をご覧ください。
掲載商品の写真は、実際の商品と異なる場合もございます。



ENCHO



エンチョーwebサイト
はこちらから!

発行/(株)エンチョー

〒417-0052 静岡県富士市中央町2丁目12番12号

0120-57-0803 <http://www.encho.co.jp/>



エンチョーグループは
ISO14001の認証を
取得しています。



ISO14001:2004 認証取得

この小冊子は、環境保護のため再生紙を使用しています。

No.40-1710